

## 事業報告

# 平成30年度 教育事業 タイニーキャンプ①

平成30年6月9日(土)～10日(日)

【対象】小学生(低学年)

【場所】国立信州高遠青少年自然の家

### ～趣旨～

小学校低学年の子供たちが、親元を離れて共同生活や自然体験活動を行うことを通して自分に自信をつけ、協調性を育むきっかけづくりとする。

### ～主催・後援団体～

主催：独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家

後援：伊那市 伊那市教育委員会

### ～活動日程～

	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	
1 日 目	10:30～ 受付 11:20～ 開会式					開 会 式	昼 食	活 動 準 備	”自然の中で遊ぼう” 「ぼうけんの森で 動物になって遊ぼ う」			夕 食	夕 食	入 浴	絵 本 読 み 聞 かせ	就 寝 準 備	就 寝
2 日 目	起 床	朝 の つ ど い	朝 食	清 掃	”みんなで作ろう！ みんなで食べよう！” 「すいとん作り」 「フルーツポンチ作り」			閉 会 式	13:20～ 閉会式 13:50 解散								

### ～参加者～

小学2年生 計40名（長野県：38名，山梨県：2名）

### ～活動トピックス～

#### 活動Ⅰ 「動物になって遊ぼう」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員

ぼうけんの森で、動物になりきって身体を思いっきり動かした。懸垂力・支持力・跳躍力の向上を狙った各種プログラムに皆全力で取り組んでいた。運動後は周辺の林を探検しながら皆で自然散策を楽しんだ。



## 活動Ⅱ 「絵本の読み聞かせ」 講師：ボランティア



各活動班毎、担当ボランティアが絵本の読み聞かせを行った。子供達が好きな絵本を数冊選び、各宿泊棟で静かに読み聞かせた。子供達は皆目を輝かせながら聞き入っていた。

## 活動Ⅲ 野外調理「すいとん・フルーツポンチ作り」

講師：信州高遠青少年自然の家 職員、ボランティア

野外炊飯棟で「すいとん」と「フルーツポンチ」を作った。子供達は野菜の皮をむいたり、切ったり、小麦粉をこねたり、缶切りを使ったり、火起こしの補助をしたりしながら一生懸命活動に取り組んだ。



### ～参加者の声～

#### 《参加児童》

- ・ぼうけんの森で動物になって遊んだのが本当に楽しかった。ボランティアのお兄さんとお姉さんがとっても優しくかった。
- ・すいとんとフルーツポンチ作りが楽しく、とてもおいしくできた。
- ・はじめは緊張したけど、このキャンプで友達をいっぱいくれた。

#### 《保護者》

- ・日記を書きながら大きな涙を流して「お姉さん、お兄さん達とお別れしたのが悲しい」「また会いたい」と言っていた。その後も話を聞こうとするたびに「楽しかった！」「会いたい」と言いながら涙ぐんでいて、本当に心に残る体験になったのを感じた。
- ・今まで、親と一緒にしか寝ることができなかったが、一人で眠ることができたことで自信がついたのか「今日は一人で寝てみたい」と言ってきた。驚きと少し寂しい思いとこのキャンプでの成長を感じた。

### ～成果と課題～

- 3つのめあて「挨拶をしよう」「自分のことは自分でしよう」「みんなで協力しよう」について、それぞれの活動場面毎に「がんばりカード」を用いて振り返らせた。自分たちの活動を振り返り、頑張ったらシールを貼ったことで、次の活動への意欲向上に繋がった。
- 昨年度の課題を踏まえ、実施した「webとFAXを用いた先着順」による参加申し込みを変更し、本年度は「抽選」としたことで、申込時の混乱もなく公正に参加者の決定ができた。
- 昨年のタイニーキャンプに参加した子供達から、ぼうけんの森の活動を経験しているから違う活動もやってみようという意見が出たため、今後は他のプログラムも含めてタイニーキャンプの内容を改善していく必要がある。